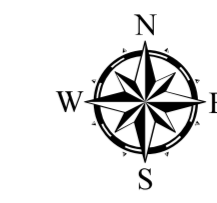
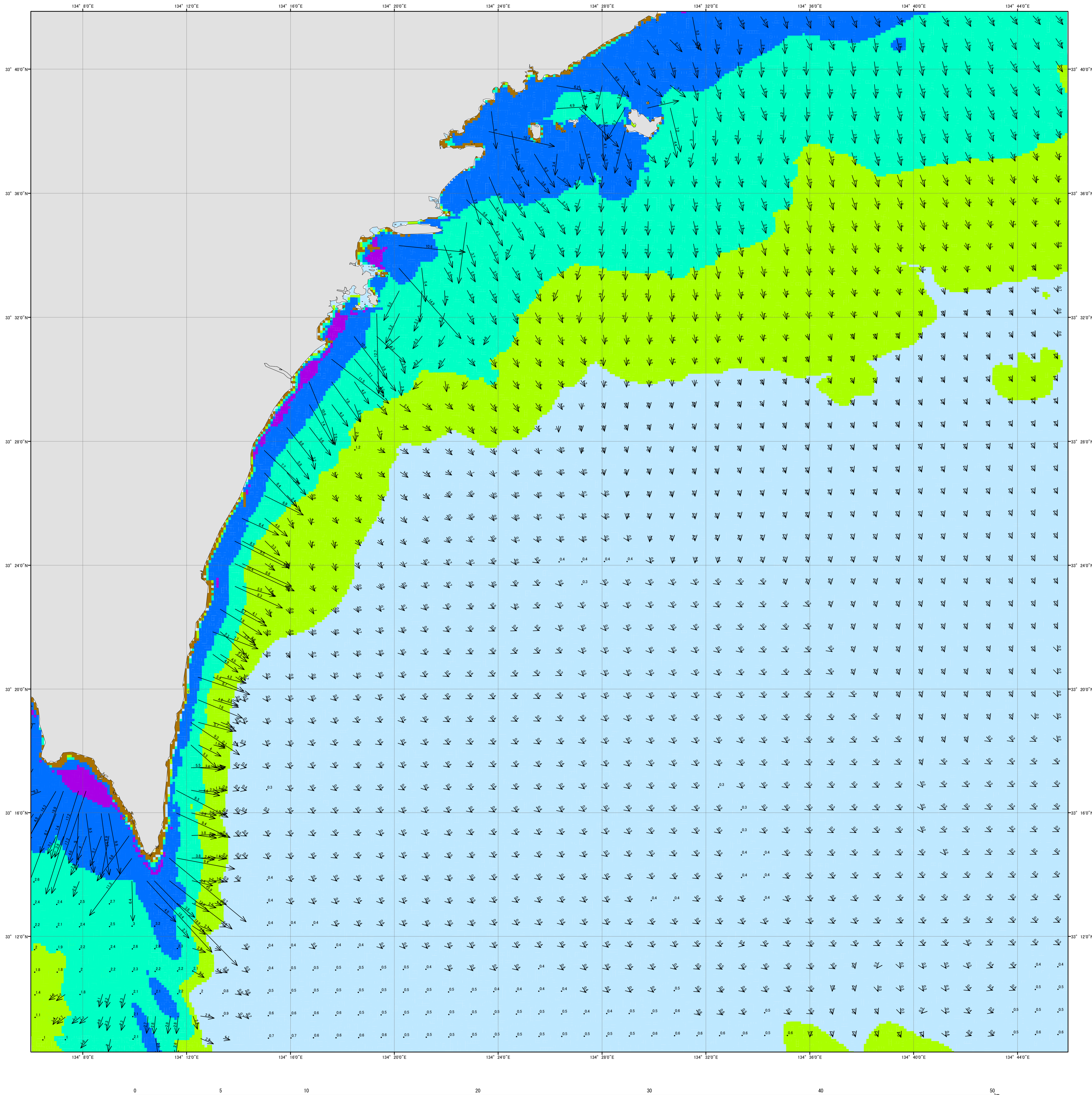


四国南岸（南東部）広域津波防災情報図（引潮図）

計算条件： 最低水面（零位）
 Zo : 1.10m
 隆起量： 平均 +1.11m(-1.00m ~ +3.26m)
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系(WGS84)



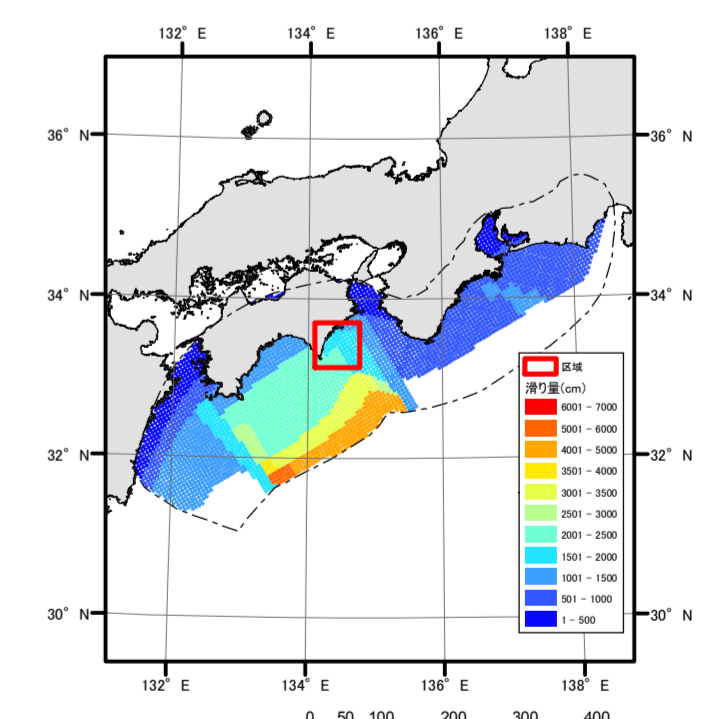
凡例

- 最大水位低下
- 10~最大16.6m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 露出域

- 引潮時最大流 [knot]
- 6 knot
 - 4 knot
 - 2 knot

- 流向変化が激しく、進入・引潮量の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。
- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

断層モデル



ケース④「四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 × 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。
 使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、図の範囲において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

作成機関：海上保安庁
 防災情報制作年月：平成25年10月（初版）
 最新データ作成年月：平成25年10月（改訂）

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10.2 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ